

(1)

旭民報

号外

旭民報2005年8月号外 (6月市議会など報告)

発行：日本共産党尾張旭市委員会

(4)

自民・公明・民主が推進する大増税計画

あなたはこの負担を耐えますか？

サラリーマンの場合
妻=専業主婦, 子ども2人

夫の年収	消費税が10%に引き上げられた場合の負担増額	所得税「改革」(定率減税廃止など)による負担増額	これまでに実施、または実施決定された負担増額	合計
400	11.2	34.1	11.1	56.4
500	13.0	42	12.7	67.7
600	15.0	56.5	15.2	86.7

■消費税が10%に引き上げられた場合の負担増額
■所得税「改革」(定率減税廃止など)による負担増額
■これまでに実施、または実施決定された負担増額

自営業者の場合
妻=専業主婦, 子ども1人

夫の年収	消費税が10%に引き上げられた場合の負担増額	所得税「改革」(定率減税廃止など)による負担増額	これまでに実施、または実施決定された負担増額	合計
360	23.3	12.2	20.3	55.8
420	29.0	14.2	25.6	68.8
480	33.9	16.5	29.4	79.8

上段:事業所得 下段:売り上げ

ご意見をお寄せください

川村つよし 〒488-0823 尾張旭市庄南町1-5-2
TEL 052-772-9298 FAX 052-771-3871

塚本みゆき 〒488-0844 尾張旭市東名西町2-7-1
TEL 052-798-1302 FAX 052-799-2609
E-Mail: asahijcp@gctv.ne.jp

痛みをおそれずと始まった小泉内閣。痛かったのは庶民ばかりです。廃止すると言う定率減税も、それと同時にいった法人税率や所得税の最高税率の引き下げなど大企業や高所得者への減税はそのままです。庶民への大増税計画が実行されたらどれだけの負担増になるのか試算すると、こんなグラフができました。(数値の単位は全て万円)

高齢者夫婦の場合
妻の年金60万円として夫の年金に加算した額

夫の年金	消費税が10%に引き上げられた場合の負担増額	所得税「改革」(定率減税廃止など)による負担増額	これまでに実施、または実施決定された負担増額	合計
220	7.9	3.3	8.0	15.9
260	8.8	3.3	12.0	24.1
300	10.2	17.5	11.9	39.6

早朝宣伝後、三郷駅にて

6月議会 賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

○：賛成
×：反対
※議長は採決に加わりません

議案などの名称	日本共産党		市民クラブ				平成クラブ				創新クラブ			あさひ21		公明党									
	川村剛	塚本美幸	大島もえ	※佐藤信幸	早川八郎	水野利彦	水野義則	渡辺欣聖	服部勝	原淳磨	森和美	行本聖一	若杉たかし	坂江章演	谷口マスラオ	森下政己	山下幹雄	相羽晴光	伊藤憲男	岩橋盛文	齊場洋治	伊藤恵理子	丹羽栄子	良知静夫	
陳情第2号, 陳情第3号 陳情第4号, 陳情第5号	○	○	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
意見書案第2号 地方六団体改革案の早期...	×	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

不採択となった陳情の主な内容

陳情第2号…地方自治体の財源保障を充実するように求めるものです。賛成多数で採択された意見書案第2号もほとんど同じ内容ですが、意見書と陳情の大きな違いは、意見書に義務教育費国庫負担金の一般財源化を求める内容が含まれていることです。

陳情第3号…現在の最低賃金が生活保護基準以下の収入しか得られないため最低賃金の引き上げを求めるなど。

陳情第4号…憲法の遵守を国に求める意見書提出。

陳情第5号…国民の権利保障を後退させる民営化は行わないように求めるなど。

6月市議会には市長提案の議案10件(すべて全員賛成で可決)自治労連などの団体からよせられた陳情4件、議会の上部組織(議長会など)から要請のあった意見書案2件合計16件の賛否が問われました。

賛否が分かれたのは上表の通り5件ですが、陳情については反対理由が全く述べられませんでした。議論をする場の議会として問題があると思えます。せめて反対理由ぐらい表明すべきだと思うのですが…。

反対理由を語らない

他会派議員

塚本みゆき議員の質問

児童クラブ

(市立学童保育)の
待機児童対策

今年児童クラブの3ヶ所、合わせて35人が待機児童となりました。児童クラブに入れた子供たちも、これまでは30〜40人の定員としていたところに40〜50人もが詰め込まれ、ひしめきあつて生活しています。

待機児童となった子供は、やはり鍵っ子となっている子が多いようです。母親は仕事時間を短くしたり仕事を変わったという人までいました。

子育てと仕事が両立出来るように願って質問しました。

1. 待機児童の夏休み中の対策
2. 児童クラブの増設
3. 開設時間の延長について

待機児童を児童館で預かるという前向きなものがありました。

禁煙応援対策について

たばこ健康や財政とのかかわりが問題視されています。そして、今年公衆衛生分野で初の国際条約となる「たばこ規制枠組み条約」が発効しました。これは、たばこの消費を削減し健康被害を防止するため、広告を5年以内に原則禁止するなどを規定しています。本市のたばこによる医療費負担額と火災被害額などを明らかにして、禁煙教育や「健康あさひ21計画」での禁煙対策について質問しました。瀬戸・旭たばこ組合にライター代として年間25万円支出しているのは後援活動になるので中止すると答弁がありました。

ジェネリック医薬品の使用促進をもとめて

瀬戸保健所長に申し入れ

日本共産党尾東地区委員会と瀬戸保健所管内の市町(瀬戸・尾張旭・豊明・日進・東郷・長久手)の議員団長連名で、7月20日、ジェネリック医薬品の利用促進を求め、瀬戸保健所長に申し入れを行いました。

保健所は診療報酬には直接関係ないが、医師会・薬剤師会との関係はあるので、どのような対応ができるのか県とも相談したい。との回答でした。

坂林たくみ尾東地区副委員長ほか4市2町の各議員団長も同席しました。

申し入れ内容は主に

- ①ジェネリック医薬品の情報収集
 - ②医師会・薬剤師会への情報提供
 - ③愛知県に対しても利用促進に取り組むよう要請することの3点です。
- 申し入れに応じた瀬戸保健所長からは、最近のジェネリック医薬品の(使用促進の)流れについては認識している。



瀬戸保健所長(手前中央)に申し入れ。
左から川村尾張旭市議団長・坂林たくみ地区副委員長
瀬戸・長久手・豊明・日進・東郷各議員団長

〇〇〇議会質問ピックアップ〇〇〇

●紙面の都合で詳細に書けませんが、10月には議事録を図書館や市のホームページでご覧になれます●

川村つよし議員の質問

国民健康保険税が2年連続で増税されています。これ以上の増税をさせないためにはどうすれば良いかなど、質問では主に3つの提案をしました。

後発品の使用率を高めて支出の抑制を

後発品(ジェネリック医薬品)の使用率を増やせば医療費の抑制を図れます。陶生病院や旭労災病院の採用品目は、どちらの病院も3%台で、全国の都道府県立病院平均5%(愛知県は4%)。1位は岩手県で約13%より低いことがわかりました。

後発品に全部変われば1兆円違うという話もあり(厚労大臣)尾張旭の人口で考えれば約6億円の違いになります。県などへの働きかけを強めるように求めました。

一般会計から大幅な繰入を行うこと

国保は高齢になるほど加入者が増え(70歳以上では約83%が加入)ほとんど誰もが加入することになります。国保への繰入額を増やすことは市民的に理解の得られるものと思います。

新たな減免制度を

検討すること

国保税は世帯の人数が増えれば年間3万円ほどの増税となりますが、こうした人頭税のようなあり方は、制度設計がたいへん古いことに由来すると考えられ、子どもや妊婦、要介護者などは免除するような減免を検討するように求めました。



ルート変更は8月から

6月16日に行われた総務委員会では、昨年12月から試験運行されている市の100円バス(仮称「市民の足」)のルートが一部変更されるということが明らかにされました。

南ルートは愛知医大と 本地バスターミナルに接続

すでに市の広報でもルート変更の内容を伝えていますが、今回の変更では、東ルート・西ルートが尾張旭駅ロータリーへ乗り入れるほか、南ルートが本地バスターミナルおよび愛知医大と接続されます。

予算の範囲内で見直し

現予算の範囲内ということもあって、今回の見直し案ではくみ尽くせない要望が数多くあります。

『市民の足』がルート変更

次回以降の検討課題とされているもので、要望が多かつたものを見ると：

- 運行間隔を短くして。1時間に1本はほしい。
- 早朝や夜も運行してほしい。
- 大きく乗りやすい車両に変えてほしい。
- 日曜日も運行してほしい。

このほか、ルート変更の要望もあり、現予算の範囲内では困難です。今後は予算の増額が必要です。

本地バスターミナルや医大への接続などは、試験運行前から党議員団も提案していたのですが、これからも意見を出し合って育てていくことが大切です。

